



備えよ、常に！ 災害は忘れる前にやってくる。

平成30年7月の西日本豪雨災害にて被災した自治体や医療機関の実務者の体験を広く共有することにより、もし今後被災した際、実務者の現場における行動力・決断力に直結する情報資産を持ち帰ることができます。

■災害現場からの報告

- 【病院の現場から】 岡山県倉敷市真備町
神崎 晴子氏 まび記念病院 地域連携部 MSW
- 【診療所の現場から】 岡山県倉敷市
松岡 邦彦氏 茶屋町在宅診療所 事業部（地域連携・相談担当） MSW
- 【包括の現場から】 愛媛県宇和島市
岩村 正裕氏 宇和島市役所 高齢者福祉課 地域包括支援センター 所長補佐
- 【老健の現場から】 愛媛県西予市野村町
垣内 千幸氏 西予市野村介護老人保健施設つくし苑 事務長補佐

■総合ディスカッション

報告者とともに会場全体での総合ディスカッションを行います。

開催日時：**2018年12月16日**（日） 10:00～12:00

開催場所：倉敷中央病院研修センター

募集人数：100人 参加費：15日・16日両日参加の場合 5,000円（NPO法人会員は4,000円）
16日のみ参加の場合 2,000円（NPO法人会員は1,000円）

募集対象：行政担当者、医療連携実務者の災害発生時の取り組みに興味のある方は誰でも参加できます。